

---

## Ⅳ 平成 30 年度予算の重点投資（主な最重点施策）

---

「横須賀再興プラン（横須賀市実施計画 2018－2021）」に位置づけた新規・拡充事業を中心に主な事業を掲載しています。

表示方法の詳しい説明はP87の【凡例】を参照してください。

### 1 経済・産業の再興

（総合戦略 基本目標 1 市内経済の活性化を図り、雇用を創出する）

市民の市内経済に対する実感は、長きにわたって低迷が続いており、こうしたマインドの長期化が市内全体に停滞感を生じさせていると考えられます。

このような状況を打破するために、「活力ある横須賀経済の源となる社会基盤の整備」、「横須賀経済のポテンシャルを生かした稼ぐ力の向上」、「横須賀経済を支える中小企業等の再興支援」、「横須賀の「おいしい食」を生かした地域経済の振興」に取り組みます。

#### （1）活力ある横須賀経済の源となる社会基盤の整備

##### ①（新）国道 357 号の整備促進 12,077 千円

【土木部交通計画課、都市部都市計画課】

国道 357 号の八景島-夏島間の早期開通と夏島以南の延伸区間の都市計画決定を目指し、国などの関係機関との連携を図ります。

また、南下延伸のルートについて、既存の道路ネットワークと連携して、本市の産業発展等に寄与するルートを検討します。

- 横須賀地区道路ネットワーク検討会への参加
- 南下延伸ルート選定の検討

##### ② 横須賀港港湾計画の改訂 6,995 千円 【港湾部港湾企画課】

平成 33 年度（2021 年度）末に改訂予定の横須賀港港湾計画について、港湾物流などに関する基礎調査を行い、10 年～15 年程度先を見据えた検討を進めます。

- 港湾計画基礎調査（背後圏の企業動向把握、港湾の役割・機能配置の検討など）の実施

---

③ (拡) 横須賀港の機能強化 202,698 千円 【港湾部港湾建設課】

老朽化した新港岸壁の防舷材などを改良し、大型船舶の受け入れに必要な水準へ向上させます。

(拡) ○ 新港岸壁防舷材交換などの改良

④ (拡) 中心市街地や拠点市街地の再開発促進 60,960 千円

【都市部市街地整備推進課 (市街地整備景観課)】

中心市街地や拠点市街地の活性化、防災性の向上、都市機能の更新のため、市街地再開発の促進を図ります。

(拡) ○ 市街地再開発事業に関する支援 (6 地区 → 8 地区)

- ・ 追浜駅前地区
- ・ 若松町 1 丁目地区
- ・ 横須賀中央駅前地区
- ・ 三笠ビル地区
- ・ 大滝町 1 丁目地区

(新) ・ 若松町 2 丁目地区

(新) ・ 若松町 1 丁目北地区

- ・ 久里浜第 1 地区

○ 横須賀中央エリア整備構想図の推進

⑤ J R 久里浜駅周辺地域の土地利用の推進 62 千円 (H29 繰越明許費 3,467 千円)

【都市部市街地整備推進課 (市街地整備景観課)】

J R 久里浜駅周辺地域の低利用地および未利用地の利活用に向け、土地利用方針を作成し、地権者と情報共有を行いながら協議・検討を行っていきます。

⑥ (新) 久里浜西口栄通り歩車道整備の実施 6,751 千円 【土木部道路建設課】

交通安全の確保と良好な道路環境を推進するため、道路整備を行います。

○ 測量業務の実施

---

⑦ (拡) 中心市街地の活性化 4,546 千円

【文化スポーツ観光部商業振興課（経済部商業・市街地振興課）、上下水道局技術部給排水課】

横須賀中央エリアの魅力を向上させるため、「横須賀中央エリア再生促進アクションプラン」に基づく支援制度などを活用し、再開発・建て替え事業を促進するとともに、再開発や企業進出などによる新たな活性化の芽を商業振興につなげるため、追浜・久里浜エリアへの支援制度の拡充を検討します。

また、商店街や民間事業者グループと協力し、にぎわいの創出を図ります。

- 横須賀中央エリア再生促進特別減税制度などのPR
- 水道利用加入金の免除（横須賀中央エリア再生促進特別減税対象施設）

(新) ○ (仮称) 市街地振興アクションプラン（中央・追浜・久里浜エリア）の策定

- 中央エリア商店街が連携して行うイベントに対する助成  
補助率 2/3 限度額 200 万円

(新) ○ 民間事業者グループがまちなかで行うイベントに対する助成  
補助率 1/2 限度額 100 万円

---

## (2) 横須賀経済のポテンシャルを生かした稼ぐ力の向上

### ① (拡) 港湾利活用の推進 14,300 千円

【経済部企業誘致・工業振興課（港湾部港湾企画課）】

横須賀港の既存ストックを活用し、貨物船などの航路開設や客船の誘致などによる港の利活用を促進することで、横須賀港を中心とした地域の活性化を進めます。

#### (新) ○ 横須賀港貨物需要調査の実施

横須賀港周辺の物流情勢、背後圏の企業動向などを調査し、横須賀港へ集荷の可能性のある貨物や貨物量などのデータを把握

#### (新) ○ 横須賀港利活用推進協議会の開催

市、有識者、関係団体で誘致する航路や船種の検討などを実施

#### (新) ○ みなとオアシスへの登録

横須賀港（久里浜地区）を「みなとオアシス」として国土交通省へ登録申請

#### \* みなとオアシス

「みなと」の物販、飲食店などの施設や緑地などのスペースを活用して、住民参加型の継続的な地域振興に係る取り組みが行われる交流拠点として、国土交通省が認定

### ② 企業誘致の推進 133,158 千円

【経済部企業誘致・工業振興課、上下水道局技術部給排水課】

企業等立地促進制度を活用し、企業立地を促進するとともに、既存企業の設備投資を支援し、本市産業の振興を図ります。

- 企業の立地や設備投資に対する税の優遇措置および成長分野への奨励金の交付
- 企業等立地促進制度の対象要件に満たないものの、従業員など比較的規模が大きい事業所の市内進出に対する助成
- 水道利用加入金の免除（企業等立地促進制度対象施設）

---

③ 横須賀リサーチパークの産業集積の推進 59,494 千円

【経済部企業誘致・工業振興課】

電波・情報通信技術研究における横須賀リサーチパーク（YRP）の優位性を生かし、YRP研究開発推進協会などと協力しながら、さらなる産業集積を目指します。

- 市内でIOT分野における最先端無線技術者の育成を図るため、研修費用の一部を助成（補助率4/5、限度額8万円）
- YRPテナントビルへの誘致を図るため、新規入居企業に対して賃借料の3ヵ月相当額を助成（限度額75万円）
- ICT人材育成事業の助成（補助率1/2、限度額500万円）

\* IOT (Internet of Things)

あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって、実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称

④ (拡) 海洋関連産業などの創出・集積に向けた調査研究 1,470 千円

【政策推進部都市政策研究所（政策推進課）】

三方を海に囲まれ、海洋関連の研究機関が数多く立地する本市の特性や地域資源を生かし、海洋分野の産業創出・産業集積を促進するため、調査研究や研究機関との連携を行います。

- 海洋関連などの研究機関との連携強化
- (新) ○ JAMSTEC研究船など一般公開の開催

---

### (3) 横須賀経済を支える中小企業等の再興支援

① (拡) 市内企業の人手不足解消と雇用の促進 12,900千円 【経済部経済企画課】

市内企業の人手不足を解消し、市内雇用を促進します。

(新) ○ 外国人労働力を市内に招き入れるためのルートづくりの検討

○ 市内企業の求人情報発信サイトの運営

(拡) ○ 市内企業合同就職説明会の開催

大学生など、定年退職予定自衛官に加えて、社会人求職者を対象とした説明会を開催

○ 職業技術校など就学者に対する奨励金の支給

② (拡) 事業承継に対する支援 1,153千円 【経済部経済企画課】

地元金融機関や横須賀商工会議所と連携し、経営者の方々に、早くから事業承継対策に取り組んでいただけるよう支援します。

(新) ○ 事業承継・M&Aに対する助成

市内中小企業が事業承継やM&A(自社の売却)を実施する際にかかる資産査定、計画作成、税理士などへのコンサルティング料、仲介委託料などの費用の一部を助成(補助率1/2、限度額50万円)

○ 事業承継セミナーの開催

③ (新) 中小企業アドバイザーネットワークの構築 54千円

【経済部経済企画課】

経営に関する各種相談を幅広い窓口で受け、よりよいアドバイスができるように、地元金融機関や横須賀商工会議所と連携したアドバイザーのネットワークを構築します。

また、成功事例などを紹介する相談事例集を発行します。

---

④ (拡) 商業の活性化対策 47,260 千円

【文化スポーツ観光部商業振興課（経済部商業・市街地振興課、農林水産課）】

「横須賀市商店街応援アクションプラン」に基づき、商店街が行う活性化への取り組みや、新たな顧客の獲得を目指す取り組みを支援します。

(拡) ○ 商店街にぎわいづくり事業補助金

(新) ・地域資源活用事業補助金

地域ならではの特産品などを活用した事業に対する助成

補助率 2 / 3、限度額 100 万円

○ 商店街翻訳アプリケーション等導入支援補助金

○ 商店街法人化支援補助金

○ 商店街共同施設整備・補修・撤去事業補助金

○ 商店街街路灯等電気料金等補助金

○ はつらつシニア応援事業

はつらつシニア応援ショップのPR、情報紙の発行

シニアマーケットセミナーの開催

○ 地産地消ショップのPR

⑤ ものづくり産業の振興 13,748 千円 【経済部企業誘致・工業振興課】

製造業の技術力向上および変革、ビジネスチャンスの拡大を図るため、各種支援を行います。

○ 中小製造業が行う新製品・新技術の研究開発や新分野への進出に要する費用の一部を助成（補助率 1 / 2、限度額 200 万円）

○ 中小製造業が行う新製品などの量産化のための設備投資に要する費用の一部を助成（補助率 1 / 2、限度額 500 万円）

○ 産業見本市出展など企業の製品や技術のPR活動費用の一部を助成（補助率 1 / 2、限度額 5～20 万円）

○ 中小製造業のビジネスチャンス拡大のため、受・発注商談会の開催

---

⑥ (拡) スタートアップの推進 22,602 千円 【経済部企業誘致・工業振興課】

本市経済を支える産業の柱の一つとしてICTを中心とした産業を育成するため、(公財)横須賀市産業振興財団と連携し、ICTを中心としたスタートアップ期の企業が活動しやすい事業環境をつくります。

○ 新産業の集積

ドローン飛行実験フィールドの提供、体験ツアー、展示会出展支援を通じたドローン関連技術や産業の研究開発、事業化の支援

○ ICTを中心としたスタートアップの発掘

ビジネスプランのオーディションやハッカソンイベントの開催支援

(拡) ○ 将来の産業を支える人材の育成

プログラミング研修に加え、新たに中学生・高校生の起業家体験プログラムの開催を支援

○ 創業セミナー、創業者成長支援セミナーの開催

**\*ハッカソン**

プログラムの改良を意味する「ハック」と「マラソン」を組み合わせた造語で、ソフトウェア開発者が一定期間集中的にプログラムの開発やサービスの考案などを行い、その技能やアイデアを競う催し

⑦ (拡) 市内事業者の基地関係からの受注拡大 1,748 千円 【経済部経済企画課】

市内事業者が、米軍・自衛隊などからより多く仕事を受注するための取り組みを行います。

(拡) ○ 米海軍取引支援補助金

市内事業者が米海軍と取引する上で必要な翻訳・通訳に係る費用の一部を助成

・補助率 1/2

(拡)・限度額 1万円 → 15万円

(新) ○ 入札制度説明会などの参加者を対象とした受注実績などの調査

○ S S H O資格取得認定講座への参加支援

横須賀商工会議所の協力のもと、講座開催を市内に誘致するとともに参加費用の一部を負担し、市内事業者のS S H O資格取得を支援

**\* S S H O (Site Safety Health Officer)**

現場安全衛生管理者。米海軍の工事を請け負うために必要な資格



---

⑧ (拡) 電気自動車 (EV) の普及促進 10,517 千円

【経済部企業誘致・工業振興課】

市内産業の活性化と低炭素社会の実現に向け、今後の成長分野として重要な電気自動車 (EV) の普及を促進します。

(拡) ○マンションや民間事業者などの充電器設置に対する助成 (補助率 4/5)

(新) ・マンションが充電器の設置を検討する際の図面などの資料作成

限度額 1 件 15 万円

・マンションに設置する充電器 限度額 1 敷地 150 万円

・事業所の通勤車両など専用に設置する充電器

限度額 1 敷地 150 万円

・その他の充電器 限度額 1 基 50 万円

○民間事業者のEV購入に対する助成

・商用車 (バン・ワゴン) 限度額 30 万円

・その他の車両 限度額 20 万円

---

## (4) 横須賀の「おいしい食」を生かした地域経済の振興

### ① (拡) 佐島地区活性化の検討 15,601 千円

【経済部企業誘致・工業振興課（港湾部港湾企画課）】

佐島地区における水産業の現状や地域特性などを踏まえ、地域の活性化に向けた検討を行います。

- 佐島漁港本港地区の用地造成を含めた6次産業化などの検討
- (新) ○ 佐島地区における水産業の現状や地域特性などの基礎調査の実施およびその結果に基づく事業プランや施設規模などの検討

#### \* 6次産業化

農林漁業者が生産（1次産業）・加工（2次産業）・流通販売（3次産業）を一体化することや、2次産業・3次産業と連携して新しいビジネスの展開や営業形態を創り出すこと。1次産業、2次産業、3次産業の1、2、3を掛けて6になることから、6次産業化といわれる。

### ② (拡) 地産地消の推進 7,668 千円 【経済部農業水産課（農林水産課）】

海と緑を生かした活気あふれるまちづくりを実現するため、「横須賀市地産地消推進アクションプラン（第3次）」（平成30年（2018年）2月策定）に基づいて、地場産農水産物の魅力をアピールして消費の拡大を図り、横須賀の農水産業をはじめとしたさまざまな産業の活性化を目指します。

- 「横須賀野菜応援隊」を活用したPR・情報発信や（一社）日本野菜ソムリエ協会関連イベントへの出展
- 本市と友好関係にある都市の名産品・特産品をよこすかポートマーケットでPR販売する物産展「友好関係市フェア」の開催
- 地場産の生鮮品を販売する市内小売業団体に対する助成
- 種苗放流事業に対する助成
- (拡) ○ 地場産農水産物のブランド化を行うためのノウハウやPR手法の調査研究
- (新) ・横須賀野菜の定義づけやロゴマーク作成の検討
- (新) ○ JAよこすか葉山が実施する直売所における販売促進に資する事業（通信販売）に対する助成（補助率2／3以内）

---

## 2 地域で支え合う福祉のまちの再興

～住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちの実現～

(総合戦略 基本目標4 人口減少社会に対応したまちづくりを進める)

本市では、今後もさらに高齢化が進み、75歳以上の高齢者は当面は増え続けることが予測されます。特にひとり暮らしの方や障害のある方、認知症高齢者等は増加傾向にあり、これに伴い、さまざまな課題が生じると考えられます。

こうした将来を見据えた中で、「地域における支え合いの強化」、「日常生活や将来に不安を抱える方々への支援」、「健康管理意識の向上、行動変容を促すための取り組みの推進」、「適切な医療・介護体制等の整備」、「横須賀らしさを生かした地域コミュニティの活性化」、「毎日の暮らしやすさの向上」に取り組みます。

### (1) 地域における支え合いの強化

#### ① (新) 地域福祉計画の策定 5,011 千円 【福祉部福祉総務課】

「支え手」、「受け手」という関係を超え、人と人とのつながりにより、住民が共に支え合い、安心して快適に暮らせる地域社会を実現するため、高齢者、障害者、子ども・子育てといった福祉分野の共通事項を定めた「地域福祉計画」を策定します。

- 市民アンケートの実施
- 社会福祉審議会の開催 (年間4回)
- 市民意見交換会の開催
- 関係団体意見聴取

#### ② (拡) 住民による支え合い活動への支援 1,520 千円 【福祉部高齢福祉課】

住民による支え合い活動団体への助成を行うことで、地域の「支え合い」の基盤をつくり、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられる環境を整えていきます。

- (新) ○支え合い活動の立ち上げに要する費用への助成 (限度額15万円/1団体)  
○支え合い活動継続のための助成 (限度額5万円/1団体)

---

③ (拡) 介護予防活動への支援 29,674 千円 【福祉部高齢福祉課】

全ての高齢者を対象に、要介護にならないための介護予防教室などを開催します。

また、町内会などの住民が運営する通いの場における介護予防活動を支援し、地域の支え合いの体制づくりを推進します。

- 介護予防普及啓発講演会や介護予防教室の開催による介護予防知識の普及啓発

(拡) ○ 介護予防サポーター養成などによる地域の介護予防活動の支援

- ・ 介護予防サポーターの養成および地域における介護予防講座の実施

(新) ・フレイルサポーターの養成およびフレイルチェック教室の実施

(新) ・介護予防DVDの作成および町内会・自治会などへの配付

- 住民自らが行う介護予防活動を支援するため、医療機関などのリハビリテーションの専門職員を町内会館などに派遣

\* フレイル

筋力、認知機能、社会とのつながりなどの心身の活力が低下した状態

---

## (2) 日常生活や将来に不安を抱える方々への支援

### ① (拡) 障害者の雇用促進 96,688 千円 【福祉部障害福祉課】

障害者の雇用の促進と就労の定着のため、企業などに対して障害者雇用奨励金を支給し、障害者の自立と社会参加を図ります。

また、一定の要件を満たす重度肢体不自由者が、自らの費用負担により職場などにおけるヘルパーの介助を受けている場合、就労の継続のために、その費用の一部を助成します。

#### ○ 障害者雇用奨励金の支給

- ・知的障害者を雇用している事業主
- ・精神障害者を雇用している事業主
- ・国の障害者介助等助成金の対象となる重度視覚障害者・重度四肢機能障害者を雇用している事業主

#### (新) ○ 障害者職場等介助ヘルパー派遣費用の助成

- ・要件を満たす重度肢体不自由者が、職場などでヘルパー派遣を受けるための費用の一部を助成（限度額 1人あたり3万円/月）

### ② (拡) 障害者の就労支援 37,184 千円 【福祉部障害福祉課】

一般就労が困難な在宅障害者の就労を推進するため、個人の能力に応じた就労の場の確保や日常生活の支援を行うとともに、障害福祉施設などに通う障害者が就職した後も、よこすか就労援助センターや障害福祉施設、ボランティアなどと連携して職場定着支援を行います。

#### (拡) ○ よこすか就労援助センターにおける就労支援・職場定着支援の充実

(拡) ・就労支援・職場定着支援を行う支援員を増員（10人 → 11人）

- 障害福祉施設などの職員が行う職場定着支援に対する助成

#### (拡) ○ 職場定着サポーターの派遣

- ・職場定着を支援するボランティアの派遣

(新) ・市外企業などでの支援を行った場合、地域に応じた交通費相当額を謝礼に加算

---

③ 特例子会社の誘致・設立のための支援 5,479 千円 【福祉部障害福祉課】

障害者の雇用の場を確保するため、特例子会社の設立に要する費用を助成します。

- 特例子会社設立支援補助金
  - ・整備費など 450 万円 (限度額)
  - ・備品購入費 45 万円 (限度額)
  - ・事務費 45 万円 (限度額)

**\* 特例子会社**

障害者の雇用を目的に企業が設立する子会社のこと。一定の要件を満たす場合、特例子会社で雇用している障害者数を親会社の障害者雇用率に算入できる。

④ (拡) 障害者グループホームの新規設立・運営のための支援 63,499 千円

【福祉部障害福祉課】

障害者が地域で安心して暮らせるよう、グループホームに対し家賃や整備費などを助成し、グループホームの設置を拡充します。

- グループホーム家賃などの助成
  - ・月額家賃の 1 / 2 の額 (上限 10 万円)
  - ・更新料の 1 / 2 の額 (上限 12 万円)
- (拡) ○ グループホーム整備費の助成
  - ・ 3 ヶ所 / 年 → 5 ヶ所 / 年
  - ・ 1 ヶ所あたり 100 万円以内

---

⑤ (拡) 認知症高齢者等に対する支援 19,354 千円 【福祉部高齢福祉課】

認知症高齢者および若年性認知症の人に対して早期相談、早期対応を行うため、有効なサービスの提供と地域における支援体制の構築を図るとともに、認知症初期集中支援チームによる支援体制を強化します。

(拡) ○ 認知症初期集中支援チームによる支援体制の強化

(1 チーム→3 チーム)

○ 認知症地域支援推進員による随時相談、医療・介護との連携

○ 認知症高齢者等に対する相談および支援体制の充実

- ・ 専門医による定例相談および保健師などによる随時相談
- ・ 認知症高齢者介護者の集いの開催
- ・ 認知症講演会および若年性認知症支援者講座の開催

**\* 認知症初期集中支援チーム**

認知症が疑われる人や認知症の人およびその家族を訪問し、課題の抽出により支援方針を検討して初期の支援を包括的、集中的（おおむね6 ヶ月）に行うことで、自立生活のサポートを行うチームのこと。

⑥ 高齢者虐待防止の推進 2,925 千円 【福祉部高齢福祉課】

高齢者への虐待を防止するため、虐待防止に関する啓発を行うとともに、関係機関と連携しながら虐待を早期に発見し、高齢者および介護者への支援を行います。

○ 電話や訪問による相談

○ ケース支援のための関係機関との連携会議の開催

○ 高齢者、介護者のためのこころの相談

○ 市民啓発講演会、介護職員向け研修会などの開催

---

⑦ (拡) 精神保健対策と自殺対策の充実 26,412 千円

【健康部保健所健康づくり課】

精神障害者の医療の確保や日常生活上の支援を行い、社会復帰およびその後の自立と社会経済活動への参加を促進します。

また、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して、自殺対策計画策定などの自殺対策に取り組みます。

- 精神障害者やその家族に対する支援
- 精神障害者に対するデイケアの実施
- 市民に対してこころの健康づくり教室の開催
- ひきこもりや家族に対する支援
- 市民に対する心の電話相談
- 精神障害者家族のレスパイトなどのための精神障害者への宿泊場所の提供

(拡) ○ 自殺対策の推進

(新)・自殺対策計画策定に伴う市民アンケート調査の分析および自殺対策計画書の作成

\*レスパイト(ケア)

在宅で障害者などを介護している家族に、支援者が介護を一時的に代替してリフレッシュしてもらうこと。

⑧ (拡) 人権擁護事業の推進 6,824 千円 【市民部人権・男女共同参画課】

「横須賀市人権施策推進指針」に基づき、人権施策を総合的かつ効果的に進めます。

(拡) ○ 人権施策推進会議の開催(年3回 → 年4回)

(拡) ○ 「横須賀市人権施策推進指針」の改定

- 人権関係団体への支援

(拡) ○ 人権啓発の取り組み

(新)・性的マイノリティ啓発ステッカーの作成・配布



---

⑨ (拡) 一般相談事業の充実 1,811 千円 【市民部市民生活課】

市政に関する意見や、市民生活に関する相談への対応を充実します。

(新) ○ 市民相談室職員を対象に弁護士などを講師とする研修会を実施

⑩ (拡) 終活支援の充実 173 千円 【福祉部生活福祉課】

身寄りがなく生活にゆとりのない、ひとり暮らしの高齢者などのリビング・ウィル、葬儀、納骨などの終活課題について、意思を尊重した解決を図り、生き生きとした人生を支援します。

- 葬儀・納骨・死亡届出人の確保、リビング・ウィルの相談
- 葬儀社との生前契約と支援プランの策定
- リビング・ウィルの伝達・葬儀などの円滑な進行

(新) ○ ひとり暮らし高齢者の希望に応じ、連絡先・墓の所在地などの登録

**\*リビング・ウィル**

判断能力のあるうちに、人生の最終段階における治療などの希望について意思を明らかにしたもの

---

### (3) 健康管理意識の向上、行動変容を促すための取り組みの推進

#### ① (拡) 健康寿命の延伸のための取り組み 340,023 千円 【福祉部健康保険課】

国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率、特定保健指導実施率を向上させるとともに、特定健康診査やレセプトデータの解析結果を活用した保健指導を実施することにより、生活習慣病の早期発見・予防と重症化予防を積極的に進めます。

#### (拡) ○ 特定健康診査受診率の向上

(拡) ・はがき、電話による受診勧奨(平日に加えて新たに夜間・休日に実施)

・特定健康診査早期受診促進キャンペーンなどの実施

・特定健康診査・レセプトデータの解析に基づき策定した第2期データヘルス計画の推進

#### (拡) ○ 特定保健指導実施率の向上

・はがき、電話による利用勧奨

・特定保健指導実施機関数の増加や質の向上のための研修会などの実施

(拡) ・糖尿病性腎症の重症化を予防するための指導プログラムについて、対象となる重症度分類を1段階拡大して実施

(慢性腎臓病の重症度分類6段階中の4段階目のみから3段階目の40～64歳を追加)

#### ② (拡) 市民健診の充実 596,281 千円 【健康部保健所健康づくり課】

疾病の早期発見、早期治療のため、保健所健診センターおよび市内委託医療機関において健康診査、がん検診などを実施します。

#### (拡) ○ 健康診査

・成人健康診査

対象 18歳から39歳まで

#### (拡) ・後期高齢者健康診査

対象 75歳以上または65歳以上で一定の障害がある方

(後期高齢者医療被保険者)

(新) 後期高齢者医療被保険者を対象とした健康診査の個別受診勧奨

・肝炎ウイルス検診など

---

○ 各種がん検診

対象 40 歳以上

(子宮頸がん検診は 20 歳以上、前立腺がん検診は 50 歳以上)

- ・ 20 歳女性を対象とした子宮頸がん検診、40 歳女性を対象とした乳がん検診の無料クーポン券による個別受診勧奨および再勧奨
- ・ 40 歳を対象としたがん検診の個別受診勧奨および再勧奨

③ (拡) 歯科口腔保健の充実 39,415 千円 【健康部保健所健康づくり課】

生涯自分の口から食事ができるように、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じたオーラルケア（むし歯や歯周病予防のために歯や口の中を清潔に手入れすること）を推進します。

(拡) ○ 歯科健康診査

- ・ 幼児歯科健康診査

対象 1 歳 7 ヶ月児、2 歳 6 ヶ月児、3 歳 6 ヶ月児

- ・ 歯周病検診

対象 集団検診：18 歳以上

個別検診：30 歳・40 歳・50 歳・60 歳・70 歳

(新) ・ 妊婦歯科検診

○ 健康教育

対象 乳幼児、園児、児童、生徒、成人、高齢者

○ 集団フッ化物洗口

対象 市立保育園児（4 歳児・5 歳児）

○ 歯科相談

- ・ 乳幼児相談
- ・ 成人歯科相談

---

④ 健康づくりの推進 4,596千円 【健康部保健所健康づくり課】

健康増進法・食育基本法に基づき、市民の健康づくりの指針となる横須賀市健康増進計画(第3次)、横須賀市食育推進計画(第2次)を推進します。

また、誰もがいつまでも健康で、生きがいを持ちながら活躍できる社会の実現を目指すための取り組みを推進します。

- 横須賀市健康増進計画(第3次)、横須賀市食育推進計画(第2次)の周知、進捗管理
- ラジオ体操の普及・支援
  - ・ラジオ体操活動グループの登録
  - ・ラジオ体操サポーターの養成
  - ・地域、観光イベント型およびコミセン型ラジオ体操講座
- ウォーキングの普及・促進
  - ・ウォーキング講座、講演会
- 健康増進普及啓発活動
  - ・ウェルシティ元気アップサンデー
  - ・健康増進普及月間、食育月間の啓発
- 県、三浦半島4市1町、商工会議所などと連携した健康づくりの推進
  - ・ショッピングセンターにて、健康関連のステージの開催やブースを出展する「健康フェア in 横須賀」の開催
  - ・県、三浦半島4市1町で「未病を改善する半島宣言」に基づき、広域連携した健康づくり事業を実施
  - ・商工会議所と連携した地域活動担い手づくり事業の実施
  - ・健康関連イベントに参加することでポイントを付与し、賞品を贈呈する「健康スタンプラリー」の実施

---

## (4) 適切な医療・介護体制等の整備

### ① 在宅における医療と介護の連携推進 19,154千円 【健康部地域医療推進課】

在宅での療養を望む市民やその家族が安心して在宅療養を選択できる体制を構築するため、医療関係者と介護関係者の連携強化や人材育成、在宅療養についての啓発などを行います。

- 在宅療養連携会議の開催  
多職種連携を図り、課題の抽出や解決策を検討
- 在宅療養ブロック連携拠点の運営委託  
在宅医を中心とした地域別ネットワークづくりの推進
- 在宅療養センター連携拠点の運営委託  
市全域にかかる在宅療養連携のための体制づくりの推進
- 医療・介護の専門職を対象とした各種研修、セミナーの開催
- シンポジウムや啓発冊子などによる市民啓発の推進
- 横須賀・三浦二次医療圏における連携推進のための行政担当者会議の開催

### ② (新) 介護ロボットの導入支援 2,047千円 【福祉部介護保険課】

介護施設などへの介護ロボットの導入を支援することで、従事する介護職員の負担を軽減し、介護人材の定着促進を図ります。

- 介護施設職員などを対象としたロボット展示場の見学支援  
・参加の募集、参加費用の負担、参加した介護施設職員などへの事後調査
- 介護施設などへ介護ロボットの試用貸出  
・市がメーカーからレンタルし、希望する介護施設などへ貸出、貸し出した介護施設などへの事後調査

---

③ (拡) 介護人材の確保・定着支援に向けた取り組み 1,133 千円

【福祉部介護保険課】

介護職となる人材の確保に向け、介護職員の定着支援のための研修や、外国人介護福祉士候補生への日本語研修を行います。

(拡) ○ 介護施設・事業所向け職員研修の実施

コミュニケーション研修および職場リーダー養成研修

地域密着型サービス事業所職員対象のコミュニケーション研修を拡充

1 コース → 2 コース

- 経済連携協定（EPA）に基づき来日した外国人介護福祉士候補生を対象とした介護に関する日本語研修の実施

\* 経済連携協定（EPA）

貿易のみならず、人の移動など幅広い分野での連携を促進するための二国間または多国間での協定。EPAに基づき国家資格の取得を目的に来日した外国人が、介護福祉士候補生として介護施設で就労・研修している。

④ (新) (仮称) 市立病院将来構想の策定 12,978 千円 【健康部地域医療推進課】

市立病院として必要な医療提供体制の確保を図り、安定した経営の下で継続的に病院運営を行うため、(仮称) 市立病院将来構想を策定します。

---

## (5) 横須賀らしさを生かした地域コミュニティの活性化

### ① (新) 学校施設を拠点とした地域コミュニティの強化 166千円

【市民部地域コミュニティ支援課】

地域活動団体の拠点を学校施設に整備し、子どもから高齢者までさまざまな世代の交流を促進し、地域の結びつきの強化を図ります。

- 庁内検討の実施、関係団体との調整
- モデル校の選定

### ② (新) 谷戸の地形を活用した地域コミュニティの再生 14,479千円

【都市部まちなみ景観課（都市計画課）】

横須賀らしい地形を活用した新しい地域コミュニティのあり方を検証するモデル事業を通じて、個性ある地域コミュニティの再生を目指します。

- 谷戸地域の空き家に創作活動を行う芸術家などを誘致し、地域との交流機会を創出する取り組みを試行
- 関東学院大学と連携した、学生による「谷戸地域の空き家を活用した地域交流拠点創出活動」への支援
- 空き家を改修し活用する「地域コミュニティの再生に寄与する取り組み」を公募し、活動経費の一部を助成
  - ・ 地域コミュニティ再生提案事業助成 限度額 100万円

### ③ (拡) 空き家の除却による宅地流通の促進および耐震化率の向上

7,300千円 【都市部まちなみ景観課（都市計画課、建築指導課）】

空き家の解体を促し、空き家数の減少と跡地の利活用を促進することで、良好な住環境の維持と住宅ストックの適正化を図ります。

- 老朽化し、倒壊などの危険がある空き家解体費用の一部を助成
  - ・ 老朽危険家屋解体費用助成 限度額 35万円
- (新) ○ 5年以上居住者のいない旧耐震基準一戸建て住宅の解体費用の一部を助成
  - ・ 旧耐震基準の空き家解体助成 限度額 15万円

---

## (6) 毎日の暮らしやすさを向上させるための取り組み

### ① (新) ユニバーサルデザインタクシーの導入促進 3,000 千円

【土木部交通計画課】

高齢者をはじめ、誰もが安全に利用しやすいユニバーサルデザインタクシーの導入促進を図ります。

- ユニバーサルデザインタクシー車両購入費の一部を助成  
限度額 15 万円/台

### ② (拡) コミュニティバス導入の検討 7,157 千円 【土木部交通計画課】

コミュニティバスの導入に向けた運行実験などを行うとともに、地域の実情に合ったコミュニティバスのあり方を検討します。

- (新) ○ 地域における検討会の実施
- (新) ○ 地域公共交通会議の運営支援
- (新) ○ コミュニティバス導入に向けた運行実験（1 地域）への助成  
・限度額 300 万円

### ③ (新) コンビニエンスストア公金収納の体制整備 40,911 千円

【総務部会計課、税務部税制課（財政部納税課）、福祉部健康保険課】

税や諸料金などの公金をコンビニエンスストアで収納できる体制を整備していきます。

- コンビニ収納の範囲  
市県民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険料
- スケジュール  
平成 30 年度（2018 年度） 税システムの改修  
平成 31 年度（2019 年度） 国民健康保険システムの改修など  
平成 32 年度（2020 年度） コンビニ収納開始

### ④ (拡) 職員研修の充実 200 千円 【総務部人事課】

問題を抱えている相談者に寄り添った対応ができるよう、職員研修として、職員の傾聴力の向上を図る研修を新たに実施します。

- (新) ○ 産業カウンセラーなどを講師とする研修の実施



---

### 3 子育て・教育環境の再興（整備・充実）

（総合戦略 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる）

少子高齢化のさらなる進展により本市の人口は減少を続けています。市民へのアンケート調査では出産に関して、「理想の子ども数」に「実際の子ども数」が追いついていない状況が見られ、その大きな理由は「経済的な負担」や「育児に対する心理的・肉体的な負担増への不安」にあることが分かります。

市民の出産・子育ての希望をかなえ、出生数を増やしていくため、「出産・子育て環境の充実」、「子育て世代が働きやすい環境づくり」に取り組みます。

また、子どもたちが成長していく過程で、「教育」は大変大きな役割を担っています。多様な学習機会の提供による学力の向上をはじめとした教育環境の充実を図ります。

#### （1）出産・子育て環境の充実

##### ①（拡）小児医療費助成の拡大 1,266,152千円 【こども育成部こども青少年給付課】

子育てにかかる経済的負担を軽減し、子どもたちが適切な医療を早期に受けられるようにするため、小児医療費助成における通院の対象者を、中学校3年生までに引き上げます。

また、すべての年齢にわたり所得制限を撤廃します。

##### （拡）○ 通院の助成対象者

0歳～小学校6年生 → 0歳～中学校3年生

##### （拡）○ 所得制限

1歳以上に所得制限あり → すべての年齢にわたり所得制限なし

---

② (拡) 幼児教育・保育の段階的無償化への取り組み 89,674 千円

(事業に係る歳出の増額分と歳入の減額分の合算額)

【こども育成部保育運営課、教育・保育支援課、教育委員会教育指導課ほか】

年収約 360 万円未満相当の世帯を対象に、教育・保育施設を利用している児童に係る保育料を無償化し、また、幼稚園就園奨励費補助金について園児世帯の負担額の無償化を図ります。

- (拡) ○ 国の段階的無償化の拡充に合わせ、年収約 360 万円未満相当の世帯について、幼稚園などの保育料・園児世帯の負担額を軽減
- (新) ○ 上記の拡充に加え、市独自に年収約 360 万円未満相当の世帯について、幼稚園と保育園などの保育料・園児世帯の負担額を無償化(幼稚園就園奨励費は上限 308 千円までを助成)

③ 就学援助制度の見直し 36,878 千円 【教育委員会支援教育課】

準要保護者に対する就学援助費のうち新入学児童生徒学用品費などを入学前に支給します。

- 中学校 1 年生の 10 月に支給 → 小学校 6 年生 (前年) の 3 月に支給
- 小学校 1 年生を対象とした支給時期の前倒しを、速やかに実施できるよう検討

④ 「こんにちは赤ちゃん事業」の推進 17,001 千円 【こども育成部こども健康課】

母子健康手帳交付後の妊娠初期からの子育てに対して、切れ目のない相談体制を整えます。

生後 4 カ月までの乳児のいる世帯への保健師・助産師による全戸訪問などを実施し、養育環境の把握および育児不安の軽減を図ります。

- 新生児から生後 4 カ月までの乳児のいる世帯の養育環境の全数把握および子育て支援の実施
- こんにちは赤ちゃん訪問指導員資質向上のための研修会

---

⑤ 「ハッピーマイプラン事業」の推進 307 千円 【こども育成部こども健康課】

妊娠・出産、子育てに関するさまざまな支援の情報を提供することなどにより、子どもを望む人が横須賀で子どもを産み育てることへの不安を解消できるようにサポートします。

⑥ 特定不妊治療に対する支援 60,442 千円 【こども育成部こども健康課】

特定不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない治療費の一部を助成します。

- 1回の治療につき最大15万円まで助成
- 初回の治療に限り最大30万円まで助成
- 特定不妊治療の一環として行う男性不妊治療に対して、1回の治療につき最大30万円まで助成

⑦ 妊娠期から子育て期にわたる包括的な支援 7,278 千円

【こども育成部こども健康課】

妊産婦の育児不安を解消するため、母子保健コーディネーターによる妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援（横須賀版ネウボラ）を行います。

また、助産院などで産後の母子の心身のケアや、育児サポートなどを行う産後ケアを実施し、利用料を一部助成します。

**\* ネウボラ**

フィンランドの妊娠から育児まで継続した包括的な支援拠点のこと。そこから派生して、本市の妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援事業を「横須賀版ネウボラ」と称する。

---

⑧ 不育症治療に対する支援 1,830 千円 【こども育成部こども健康課】

不育症治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない治療費および不育症判定検査費の一部を助成します。

○ 治療費

・助成額 1回の治療につき、10万円までは全額、  
10万円を超える部分は1/2

・限度額 1年度あたり30万円

○ 不育症判定検査費

1年度あたり5万円まで助成

⑨ (拡) 愛らんどの拡充 55,556 千円 【こども育成部保育運営課】

子育てをする市民を対象に、相談、情報提供、交流の場を提供する、愛らんど(地域子育て支援拠点)および親子サロンを運営します。

(拡) ○ 子育てアドバイザーが常駐する愛らんどの拡充

・2カ所 → 5カ所

○ わいわい広場の運営

⑩ (拡) 公園施設長寿命化計画の策定 30,000 千円 【環境政策部公園建設課】

交流拠点となる集客公園の施設状況を把握し、長寿命化計画を策定します。

○ 計画対象公園：6公園

長井海の手公園、三笠公園、くりはま花の国、猿島公園、しょうぶ園、ペリー公園

---

## (2) 子育て世代が働きやすい環境づくり

### ① (拡) 待機児童ゼロに向けた取り組み 7,002,047 千円

【こども育成部教育・保育支援課、こども施設課】

待機児童を解消するため、施設整備などへの助成や認定こども園への移行支援を実施し、保育所などの定員（2号認定・3号認定）を173人増やします。

また、保育などに必要な給付を行います。

**\* 1号認定**

満3歳以上の教育を必要とする就学前児童

**\* 2号認定**

満3歳以上の保育を必要とする就学前児童

**\* 3号認定**

満3歳未満の保育を必要とする就学前児童

利用定員	1号認定	1,233人	→	1,935人
	2号認定・3号認定	4,157人	→	4,330人

(拡) ○ 保育所など定員の増 7施設

(拡) ○ 認定こども園の設置 4施設

(拡) ○ 家庭的保育事業の実施 1事業所

(拡) ○ 小規模保育事業の実施 1事業所

○ 施設整備などへの助成

・ 認定こども園に移行する施設への助成 1施設

・ 防犯対策への助成 1施設

・ 保育所の建て替えへの助成 1施設

○ 認定こども園に移行する私立幼稚園の長時間預かり保育の運営支援

・ 対象予定 4施設

---

② (新) (仮称) 中央こども園の整備 9,015 千円 【こども育成部保育運営課】

新港町の市有地において、上町保育園と鶴が丘保育園を統合のうえ、子育て支援機能を持つ拠点施設として、(仮称) 中央こども園を整備します。

○ スケジュール

平成 30 年度 (2018 年度)	地質調査、測量など
平成 31 年度 (2019 年度)	設計・施工事業者選定
平成 32 年度 (2020 年度)	基本設計、実施設計、建築工事、土木工事
平成 33 年度 (2021 年度)	建築工事、土木工事、外構工事、竣工
平成 34 年度 (2022 年度)	開園

③ (拡) 病児・病後児保育の推進 17,860 千円 【こども育成部教育・保育支援課】

病児・病後児保育を充実させるため、(仮称) 中央こども園の整備にあわせて施設整備するなど、新たな施設の設置に向けて検討を進めます。

また、訪問型事業については、先進地視察などを行い、調査・研究を進めます。

○ 病児・病後児保育センターの運営

(新) ○ (仮称) 中央こども園での実施に向けた検討

(新) ○ 新たな病児・病後児施設の設置に向けた調整

(新) ○ 先進地視察などによる訪問型事業の調査・研究

④ (新) 企業内保育所の設置支援 1,010 千円

【経済部企業誘致・工業振興課、こども育成部こども施設課】

企業内保育所の設置が進むよう国の施策を周知するとともに、製造業や情報通信業などの企業が、子育て世代の就労を支援するために設置する保育所の設置費用の一部を助成します。

(補助率 3 / 4 限度額 100 万円)

---

⑤ (拡) 教育・保育人材の確保・養成 5,293千円 【こども育成部保育運営課】

教育・保育人材の確保および質の向上を図るため、各種事業を実施します。

- 神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市との共同事業
  - ・保育士・保育所支援センターの運営（無料職業紹介）
  - ・子育て支援員養成研修の実施
  - ・保育センターの運営（保育専門講座の実施）
- 市の事業
  - ・保育教諭資格取得支援の実施
- (新)・県の保育士就学資金等貸付事業について周知
  - ・感染症研修、アレルギー対応研修の実施
- (新)・保育士等キャリアアップ研修の実施

⑥ (拡) 放課後児童対策の推進 645,255千円 【こども育成部教育・保育支援課】

共働き家庭など留守家庭の小学生の健全育成を図るため、放課後児童クラブの運営に要する費用の一部を助成するとともに、従来から放課後児童クラブのない小学校区内の小学校に公設の放課後児童クラブを設置するため、教室を改修します。

また、市立荻野小学校で実施している放課後子ども教室の試行事業を継続するとともに、既存のわいわいスクール（1校）を新たな放課後子ども教室として内容を充実します。

- (拡) ○ 民設民営の放課後児童クラブの拡充 62団体 → 67団体
- (新) ○ 公設の放課後児童クラブ設置のための教室改修 小学校1校
- (拡) ○ 放課後子ども教室の拡充 小学校1校 → 小学校2校

⑦ (拡) 中学校完全給食の実施に向けた取り組み 126,238 千円

【教育委員会保健体育課・学校管理課】

給食センターの施設整備などを行う事業者の募集、選考など実施に向けた準備業務を行います。

- (新) ○ 給食センター実施計画などの策定
- (新) ○ 給食センター整備等事業者選定委員会の開催
- (新) ○ 旧平作小学校地質調査の実施
- (新) ○ 旧平作小学校周辺地域住民向け説明会の開催
- (新) ○ 食物アレルギー対応に関する検討
- (新) ○ 昇降機などの設置工事にかかる実施設計
- 整備スケジュール

平成 30 年度 (2018 年度) 給食センター整備等事業者の選定業務着手  
中学校校舎に整備する昇降機・荷受室の  
設計業務着手

平成 31 年度 (2019 年度) 給食センター整備等事業者の決定  
給食センター建設予定地の建物解体  
給食センター設計業務着手  
中学校校舎に整備する昇降機・荷受室の  
整備工事着手

平成 32 年度 (2020 年度) 給食センター建設工事着手

平成 33 年度 (2021 年度) 給食センター竣工  
中学校完全給食の開始 (8 月予定)



---

### (3) 学力向上・学習環境の充実

#### ① (拡) 横須賀こども学力向上プロジェクトの推進 183,693 千円

【教育委員会教育指導課・教育研究所】

児童生徒に確かな学力を身に付けさせるため、「横須賀市学力向上推進プラン」に基づき、組織的に学力向上の取り組みの充実・推進を図ります。

- (拡) ○ 土曜科学教室の開催回数を増加 (6回 → 8回)
- 学習支援員 (旧学力向上サポートティーチャー) の配置
  - 小学校低学年授業アドバイザーの配置
  - 小学校3年生における少人数 (35人以下) 学級の実施

#### ② (拡) 生活困窮世帯の子どもに対する学習支援 8,100 千円

【福祉部生活福祉課】

生活困窮世帯の子ども (中学3年生) を対象に、全日制高等学校へ進学できるよう学習支援を行い、当該世帯の貧困からの離脱、貧困の連鎖の防止を図ります。

- 実施方法 週1回程度、コミュニティセンターなどで、数学、英語の学習会を実施

- (拡) ○ 実施会場の拡充 2カ所 → 4カ所

#### ③ (拡) 国際コミュニケーション能力の育成 167,704 千円

【教育委員会教育指導課】

市立学校全校にネイティブスピーカーを配置し、直接ふれ合う時間を設けることで、子どもたちの国際コミュニケーション能力を育成します。

また、中学校3年生を対象に英検3級検定料を全額助成し、英語学習に対する意欲の向上を目指します。

- (拡) ○ 市立中学校3年生のうち、希望者全員を対象に英検3級の検定料を全額助成
- ・対象校2校 → 23校 (全中学校)
  - 全小・中・高等学校にALTまたはFLTを配置
    - \* ALT (Assistant Language Teacher) 外国語指導助手
    - \* FLT (Foreign Language Teacher) 外国人英語教員

---

④ (拡) 子ども読書活動の推進 36,288 千円 【教育委員会教育指導課・中央図書館】

読書を通して子どもたちの生きる力を育むため、読書に親しむ環境づくり、機会づくり、推進体制整備、読書活動の重要性の普及・啓発を行います。

(拡) ○ 学校司書を中学校へ新たに4人配置（1人が2校を担当）

(拡) ○ 市立図書館から市立学校への授業で活用する図書の配送

(拡) ○ 3歳児健康診査時にブックリストなどを配布

⑤ 児童生徒健康・体力向上の推進 6,093 千円 【教育委員会保健体育課】

児童生徒の体力や運動能力、運動習慣などに関する実態を把握し、体育・健康に関する指導が学校の教育活動全体を通じて適切に行われるよう推進します。

○ 児童生徒一人一人の体力・運動能力、運動習慣などの把握

・横須賀市児童生徒体力・運動能力、運動習慣など調査の実施

対象 市立小学校3年生～中学校3年生

・横須賀市児童生徒健康・体力向上推進委員会の開催

⑥ (拡) いじめ・不登校対策の充実 164,694 千円 【教育委員会支援教育課】

大きな社会問題となっている、いじめ・不登校問題に関して、未然防止、早期発見、早期対応に向けてよりきめ細かい支援に取り組みます。

(拡) ○ スクールカウンセラーの配置

・小学校 4名 → 6名

○ スクールソーシャルワーカーの配置

○ 教育相談員の配置

○ 小学校にふれあい相談員、中学校に登校支援相談員を配置

⑦ 支援教育の充実 111,370 千円 【教育委員会支援教育課】

「支援教育」の立場から多角的、総合的に施策を実施していきます。さらに、関係機関との連携を図り、学校教育全体の支援を行います。

○ 特別支援学級介助員、臨時介助員の配置

○ 日本語指導員、学校生活適応支援員の派遣

---

#### (4) 通学時などの子どもの安全対策

① (拡) 通学時などの子どもの安全対策の推進 3,807 千円

(H29 補正予算額 18,600 千円)

【環境政策部公園建設課、土木部道路建設課、市長室地域安全課（市民安全部地域安全課）】

津波ハザードマップで浸水予想区域となっている久里浜地域にて、津波災害時に安全な高台へ迅速に避難できるよう、くりはま花の国に避難階段を設置します。併せて子どもの通学路などの安全対策を図ります。

- (新) ○ くりはま花の国津波避難階段の設置
- 交差点および路側帯のカラー舗装
  - スクール・ゾーン電柱巻標識の設置

---

## (5) 学校などでのプロスポーツと連携した取り組み

### ① よこすかドリーム・スポーツプロジェクトの推進 209千円

【文化スポーツ観光部スポーツ振興課（政策推進部スポーツ振興課）】

本市をホームタウンとしているプロスポーツチーム（横浜F・マリノス、横浜DeNAベイスターズ）などの選手・コーチが学校を訪問し、直接授業で共に体を動かしふれあうことなどで、子どもたちに夢と感動を与え、スポーツに対する関心を高めます。

- 選手・コーチの学校訪問・指導
- 横須賀市こども招待デー（横浜DeNAベイスターズ）のチラシ印刷・配布
- ホームタウン感謝イベント～Yokosuka City Special～（横浜F・マリノス）での本市PR

### ② (拡) 横浜F・マリノス現役選手によるサッカー教室の開催 300千円

【文化スポーツ観光部スポーツ振興課（政策推進部スポーツ振興課）】

本市をホームタウンとする横浜F・マリノスのプロ現役選手から直接指導を受け、共に体を動かしふれあうことで、子どもたちに夢と感動を与え、スポーツに対する関心を高めます。

- (拡) ○ よこすかスポーツフェスタにおけるプロサッカー選手を招いたサッカー教室の開催

---

## 4 歴史や文化を生かしたにぎわいの再興

### ～「観光立市よこすか」の実現～

(総合戦略 基本目標2 定住を促す魅力的な都市環境をつくる)

人口減少に伴う消費活動の低迷や製造業の撤退といった産業面での停滞が続く中、平成26年(2014年)には観光を産業の柱とする「観光立市よこすか」を目指すため、観光立市基本条例を制定し、魅力的な資源を生かしたさまざまな取り組みを進めています。観光を本市の基幹産業として成長させていくためには、にぎわいを消費の拡大につなげていく必要があります。

こうした状況から、都心に近い地理的な優位性や他の都市にはない地域資源を生かし、横須賀らしいエンターテインメント、スポーツによるにぎわいづくりを進めていきます。特に音楽、スポーツには人の心を高揚させる強い力があります。市内経済に停滞感が生じているなか、音楽、ダンス、スポーツを通じて、市民がワクワクする、楽しめる環境の充実を図ります。

### (1) 観光立市の推進

#### ① (拡) 観光立市の推進 22,418 千円

【文化スポーツ観光部観光課(経済部観光企画課)】

観光客のニーズに合った主要な地域資源を積極的に活用し、観光消費額の拡大を図ります。

また、観光政策の実効性の確保のために、観光振興推進委員会を開催し、その意見を踏まえ、必要に応じて観光立市推進基本計画の見直しを行います。

#### (拡) ○ 観光客のニーズの把握

##### (新)・マリンレジャー拠点創出に向けた調査

##### ○ 訪日外国人アクセス環境の向上

訪日外国人が自由に周遊し、活発に消費できる環境を整えるために、観光地への移動時の不安や地域資源の魅力に対する調査を実施

#### (新) ○ 観光立市推進基金の設置

ふるさと納税による寄附金を基金に積み立て、観光客の受け入れ環境の整備やPRに活用

---

② (拡) 集客プロモーションの推進 48,772 千円

【文化スポーツ観光部観光課（経済部観光企画課）】

本市の地域資源を戦略的にプロモーションし、地域経済の活性化を図るため、「横須賀集客実行委員会」（京浜急行電鉄（株）、横須賀商工会議所、横須賀市）において、集客PRを実施します。

また、三浦半島をはじめとした県内各自治体や日本遺産に共同認定された旧軍港市との連携を促進し、さらなる集客に向けたPRを実施します。

(拡) ○ 「横須賀集客促進実行委員会」での事業運営

(新) ・自転車スタンプラリー、イベントの実施

(拡) ・グルメを活用した周遊企画の実施

(拡) ・外国人観光客誘致のためのPR

(拡) ・サブカルチャーの活用

○ 日本遺産活用推進事業

・「旧軍港市日本遺産活用推進協議会」での共同でPRや集客、連携事業などを行う。

---

## (2) 歴史遺産の活用促進

### ① (新) 浦賀奉行所開設 300 周年に向けた取り組み 1,862 千円

【文化スポーツ観光部企画課（政策推進部文化振興課）、市民部浦賀行政センター】

江戸時代から幕末まで歴史的に重要な役割を果たした浦賀奉行所が、平成 32 年（2020 年）に開設から 300 周年の節目を迎えるのに先立ち、浦賀奉行所が歩んだ功績や、浦賀に残る貴重な歴史遺産を広く周知するための取り組みを行います。

- イベントでの PR ブースの設置
- リーフレットやポスターによる PR
- 奉行所ゆかりの地との連携の検討
- 奉行所関連の特別展示会を開催

### ② (新) 浦賀奉行所跡地活用の検討 260 千円

【都市部市街地整備推進課（市街地整備景観課）】

平成 29 年（2017 年）12 月に住友重機械工業株式会社から寄附を受けた旧川間社宅敷地（浦賀奉行所跡地）について、地元関係者の要望や意見を聴きながら、有効な土地利用方針を策定します。

### ③ (新) 軍港資料館などの整備 38,726 千円

【文化スポーツ観光部文化振興課（政策推進部文化振興課）】

これまでの軍港資料館などに関する検討経過に基づき、ルートミュージアムによる整備を行うこととし、市内に点在する近代化遺産などを紹介するなど、観光ガイドセンターとしての役割を持たせたルートミュージアムの中核拠点をティボディエ邸を活用して整備します。

- 軍港資料館等検討部会の運営
- VR などのデジタルコンテンツの活用
- 中核拠点整備スケジュール

平成 30 年度（2018 年度） 基本設計、測量・地盤調査

建築設計、展示設計

平成 31 年度（2019 年度） 建築設計、展示設計、建築工事、展示製作

平成 32 年度（2020 年度） 建築工事、展示製作、開館

---

**\* ルートミュージアム**

市内の観光資源・文化資源を活用し、情報発信拠点となるガイドンスセンターと点在する近代化遺産などからなる施設群を周遊するもの

**\* VR (Virtual Reality)**

コンピュータを用いて人工的な環境を作り出し、ゴーグルなどを着用すると、あたかもその場所にいるように感じさせる技術

**④ (拡) ペリー記念館展示内容の充実** 1,774 千円 **【環境政策部公園管理課】**

文化・観光の拠点として魅力向上を図るため、ペリー記念館の展示内容を見直します。

(新) ○ 映像展示設備を新設するため、プロジェクターなどの備品を整備

**⑤ (拡) 史跡東京湾要塞跡の保存と活用** 58,835 千円 **【教育委員会生涯学習課】**

史跡東京湾要塞跡（猿島砲台跡、千代ヶ崎砲台跡）を未来に継承していくための調査・整備を行います。

千代ヶ崎砲台跡については、平成 32 年度（2020 年度）中の一般公開を目指します。

- 猿島砲台跡および千代ヶ崎砲台跡の調査
- 整備基本計画の策定

(新) ○ 整備基本設計

**⑥ (拡) 猿島公園の利活用の促進** 4,678 千円 **【環境政策部公園管理課】**

猿島公園の更なる利活用を進めるため、民間事業者主催のイベントを共催事業として支援し、夜間の集客や音楽イベント会場としての利用など、新たな魅力の発信と賑わいを創出します。

(新) ○ 砂浜部においてサンセットから夜景の時間帯にあわせ、音楽ライブや軽食を提供

(新) ○ 島内の雰囲気ライトアップやプロジェクションマッピングなどで効果的に演出

(新) ○ 夜間のイベント開催にかかる安全対策を実施



---

### (3) スポーツを核としたまちづくり、スポーツによる集客促進

① (拡) 大規模スポーツ大会等の誘致 18,487 千円 (H29 補正予算額 2,995 千円)

【政策推進部政策推進課】

海洋・アウトドアスポーツに適した環境を活かし、大規模スポーツ施設・大会などの誘致を図ります。

(新) ○ 横浜F・マリノス練習場誘致に向けた調査・検討

(拡) ○ 津久井浜海岸で開催されるウインドサーフィンワールドカップ横須賀大会の継続開催 (5月10日(木)～15日(火))

○ BMXやスケートボードなどを対象としたアクティブスポーツ施設の誘致に向けた調査研究

○ 東京オリンピック・パラリンピック参加国の事前キャンプの誘致

○ ナショナルトレーニングセンター拡充施設の誘致

② (拡) 不入斗公園陸上競技場などの改修 224,412 千円 【環境政策部公園建設課】

運動公園としての機能を確保するために、第3種公認陸上競技場の更新に必要な改修を実施します。また、駐車場不足による車道渋滞を緩和するため、駐車場の拡張工事を実施します。

○ 陸上競技場改修工事 (第3種公認)

(拡) ○ 駐車場拡張工事

---

③ (拡) 追浜地域のスポーツを核としたまちづくりの推進 255,562千円

【環境政策部公園建設課、文化スポーツ観光部商業振興課（経済部商業・市街地振興課）、  
上下水道局経営部用地管理課（財務課）】

横浜DeNAベイスターズ総合練習場の設置を契機として、追浜公園横須賀スタジアムの改修・スタジアムリニューアル構想の策定など施設の整備などによる集客を促進します。

また、最寄駅からスタジアムに向かう街並みに統一感を持たせるためのアーケードなどの改修や機運を高めるためのイベント開催など商店街の主体的な取り組みを支援していきます。

(拡) ○ 追浜公園横須賀スタジアム外野人工芝およびナイター照明改修基本設計

(新) ○ 追浜地区商店街支援

- ・アーケードなどの改修に対する助成  
(補助率1/2 限度額1,000万円)
- ・イベントの開催に対する助成(補助率1/2 限度額200万円)
- ・アーケードに掲げるフラッグの作成など

(新) ○ 鷹取川利用計画の検討

追浜公園改修などに併せて集客効果を促進するため、追浜商店街裏側を流れる鷹取川の整備方法およびその後の土地利用方法を検討

---

#### (4) 音楽・ダンスや芸術文化などエンターテインメントが持つ力を生かしたにぎわいづくり

① (新) 「アートのみち・横須賀」実現に向けた調査・研究 165 千円

【文化スポーツ観光部企画課（政策推進部文化振興課）】

「アートのみち・横須賀」の実現に向けて、横須賀総合高等学校などとの連携や既存の市民文化祭を含めたアートフェスティバルの仕組みづくりを構築するための研究や調査を行います。

あわせて、三浦半島地域で連携したアートフェスティバルの実現に向けた土壌づくりを行い、近隣自治体へ働きかけを行います。

- アートフェスティバルの仕組みづくりのための調査・研究
- 三浦半島地域で連携したアートフェスティバル実現に向けた働きかけ

② (新) 横須賀音楽・夢プロジェクトの推進 10,477 千円

【政策推進部プロジェクト推進課（政策推進課）】

音楽の力でまちを活性化させることを目的に、(公財)横須賀芸術文化財団や音楽企業と連携して、「メジャーデビューオーディション」イベントを行います。

また、ミュージシャンとともに、音楽の力で市民がワクワクする機会を提供します。

- ミュージシャンと市民が共に目指す「横須賀音楽・夢プロジェクト」

③ (新) ストリートライブの場の創設 3,050 千円

【文化スポーツ観光部企画課（政策推進部文化振興課）】

まちなかをステージとしたストリートライブの場を創出し、常に音楽にあふれた、ワクワクするまちづくりを進めます。

- ストリートライブの場の提供での実証実験（横須賀中央地区）

---

## (5) 横須賀の海が感じられる場所での新たなにぎわいづくり

### ① (新) 長井海の手公園隣接地の活用 20,090千円 【環境政策部公園建設課】

長井海の手公園の「魅力」と「集客力」向上や、「西地区（長井地区）」の「活性化」を図るため、隣接地を活用し「官民連携型の基盤整備手法」の導入について検討します。

- 官民連携事業化調査

### ② (新) 西地区海岸周辺における用途地域などの見直し 441千円

【都市部都市計画課】

西地区海岸の魅力ある地域資源を堪能していただくための宿泊施設や店舗などの立地が可能となるように、地域を選定して都市計画制限の見直しを行い、観光立市の促進を図ります。

- 旅館やホテル、店舗などの建築が可能となるよう都市計画制限を緩和

### ③ (拡) 1万メートルプロムナードの活用検討 36千円

【政策推進部政策推進課】

1万メートルプロムナードの地域資源を生かし、歩くことが楽しくなる雰囲気を作り出し、活気があり魅力的な道となるよう、民間事業者とともに検討する協議会を立ち上げ、効果的な取り組みを進めます。

- (新) ○ (仮称) 1万メートルプロムナード協議会の開催 4回